

被疑者国選弁護制度の対象事件について の国選弁護人選任状況

被疑者国選弁護制度の対象事件についての国選弁護人選任状況

配布資料 2 6

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
勾留状発付数（※1）	112,047	109,686	106,806	106,979	102,089	97,357	95,079	90,359	87,810	83,815
国選弁護人の選任数（※2）	72,871	70,956	69,420	69,355	66,330	63,319	74,208	78,300	76,012	72,577
割合（※3）	65.0%	64.7%	65.0%	64.8%	65.0%	65.0%	78.0%	86.7%	86.6%	86.6%

※1 検察統計年報の「41 罪名別 既済となった事件の被疑者の逮捕及び逮捕後の措置別人員 - 自動車による過失致死傷及び道路交通法等違反被疑事件を除く -」を基に記載している。

※2 司法統計年報の「第18表 被疑者段階の国選弁護人請求事件の新受、既済人員-全地方・簡易裁判所」を基に記載している。

※3 勾留状発付数に対する、国選弁護人が選任された人員の割合